

西胆振地域連携研修・法人内研修 実施報告書

研修名	令和4年度入社職員フォローアップ研修（3ヶ月編）
-----	--------------------------

対象者	令和4年度新人研修受講の職員
日程	令和4年7月25日（月）～26日（火）
会場	高齢者ケア研修センター 財田の杜

研修のねらい

入社から3ヶ月が経過した中で新人研修で習得した知識や技術を確認する機会とし、介護職員として更に実践力を高めることができるようフォローアップします。また、参加者個々が、仕事の内容や状況を相互に情報交換し、互いの理解を深める中で自己や仕事に対する悩みや戸惑いを払拭し、仕事に対する姿勢、仕事へのモチベーションを高める機会とします。



研修プログラム

1 日目

時間	研修科目	講義形式	講師	研修内容
9:00～ 10:30 (90分)	認知症ケア	講義 演習	来夢の杜大宮) 杉谷施設長	認知症という病気やその心理について正しく理解する。認知症に伴う行動・心理症状を理解するうえで、利用者個々の心身状態を丁寧にアセスメントし、個々の状況に即したケアについて学びます。
10:40～ 12:10 (90分)	リスクマネジメント ～日常生活に潜むリスクに気づく力を身につける～	講義 演習	大原の杜 2016) 堀川ケアマネジャー	利用者様の「安心・安全」を守るためにも、日常生活を支援する中で想定される事故を見つけ出し、どのような場面で起きやすいのかを理解し、予防策に取り組むことが重要となり、この研修で再度介護施設でのリスクマネジメントについて学びます。
13:10～ 16:10 (180分)	介護技術向上 【移乗・体位交換編】	講義 演習	おおたきの杜) 佐々木生活相談員	食事・排泄・入浴等、日常生活を援助する上で必要な介護技術の基礎知識について確認します。また、今講義では介護の中でもリスクが高いと言われる移動介助（移乗介助、体位交換等）の正しい方法について実技を交え再確認・技術を向上する機会とします。

2 日目

9:00～ 10:30 (90分)	身体拘束等の適正化と高齢者虐待防止	講義 演習	行動規範) 11委員会	身体拘束等の適正化と高齢者虐待防止について、その背景と改正点について学び、介護の専門職として適切な介護サービスの視点を学びます。
10:40～ 12:10 (90分)	高齢者に多い疾病と緊急時の対応について	講義 演習	幸豊園) 佐々木看護師	いざという時に慌てず冷静に対応できるように高齢者に多くみられる疾病について理解を深め、緊急時の対応と医療行為について学びます。
13:10～ 16:10 (180分)	普通救命講習	講義 演習	西胆振行政事務組合 消防本部	普通救命講習では、緊急時の応急処置に関する知識とスキルを身につけることができます。とくにAEDは、使い方を見たり聞いたりしたことがあっても、実際に操作したことがある人は少ないのではないのでしょうか。普通救命講習でAEDの使い方や心肺蘇生法を実際に体験し、応急手当の知識と技術を習得して、いざというときに慌てずに対処できるようになりましょう。
16:20～ 17:20 (60分)	筆記テスト 振り返り	講義 演習	行動規範7委員会) 吉田生活相談員	新人研修で学んだ知識、終了した後の3ヶ月の業務をとして学んだ知識や技術の再確認。また全体での振り返りを行い、職員としての心構えや今後の目標設定など、改めて考える機会とします。

研修の様子

令和4年度に採用された職員6名が参加。入社から3ヶ月を振り返り自分たちの習得した知識や技術を再確認しながら、現場での実践力の向上につながるよう真剣に取り組んでいた。また参加者個々が仕事の内容や状況を相互に情報交換し、仕事に対する意識等の理解を深め、モチベーションを高め合っていた。また、研修の中では西胆振行政事務組合消防本部職員の方に講師をしていただき普通救命講習会を開催。法人各事業所から21名が集まり、急変時の初動対応についてAEDの操作方法や心肺蘇生術の方法などの確認・技術向上に努めた。

